

トルクメン語<sup>1</sup>の情報構造と名詞述語文<sup>2</sup>

奥 真裕

- (1) 「えっ、ムラットが来たの?」「いや、ムラットじゃなくてラフマンが来たんだ。」(昨日の集まりに珍しくやって来た人についての会話で)

Wi, Myrat gel-ipdir-mi?!

えっ ムラット 来る-SUB.PAST-Q

Ýok, Myrat däl de, Rahman gel-ipdir.

いいえ ムラット NEG.COP CONJ ラフマン 来る-SUB.PAST

肯定文においてはトルクメン語では一般に焦点を表すマーカがない。

疑問文において、トルクメン語と近い関係にあるトルコ語で Göksel and Kerslake (2005) などにも指摘があるように焦点によって疑問の小辞の位置が変わることはよく知られているが、トルクメン語においては -m<sup>3</sup> の位置は述語の後から動くことはできない。しかし、音調の変化によって焦点を表す。

- (2) 「誰が来た (の) ?」「ムラットが来たよ。」

Kim gel-di?

誰 来る-PAST

Myrat gel-di.

ムラット 来る-PAST

疑問詞を含む疑問文では疑問詞が焦点であり、それに対する応答の文では疑問詞に対する答えが焦点である。

<sup>1</sup> トルクメン語はトルクメニスタン、イラン、アフガニスタンなどで話されている言語である。チュルク諸語の南西語群（オグズ語群とも呼ばれる）に分類され、トルコ語やアゼルバイジャン語と近い関係にあるとされる。部族ごとの方言が色濃く残っていること、チュルク語祖語の母音の長短の区別を保っていることが特徴として挙げられる。言語類型論的にはいわゆるアルタイ型であり、SOV の語順をとる言語である。本稿における表記は正書法を採用している。

<sup>2</sup> 本稿の作成にあたり、東京外国語大学研究生のトルクメン人 Jennet Rozykulyýewa さん（Lebap 州出身、24 歳、女性）のご協力を得た。また、指導教官である菅原睦先生からコメントをいただいた。この場を借りて感謝を述べたい。なお、誤りはすべて執筆者の責任である。調査にあたっては、筆者の作例を修正してもらった。また、実際の使用の場面をそれぞれ想定しながら自然な使用が可能な文を採用した。

<sup>3</sup> 以下、大文字は子音の同化や母音調和による交替をしめす。(A=a/ä; E=e/a; I=i/y/ü/u)

(3) 「ムラットの方が大きいんじゃないの?」「いや、ムラットじゃなくて、ラフマンの方が大きいんだよ。」(ムラットとラフマンの背について話している状況で)

Myrad-yň boý-y uzyn däl-mi?  
ムラット-GEN 身長-3.POSS 高い NEG.COP-Q  
Ýok, Myrad-a garanyňda Rahman-yň-ky uzyn-rak.  
いいえ ムラット-DAT 比べると ラフマン-GEN-N.DER 高い-COMP

(4) [電話で]「どうした(の)?」「うん、今、お客さんが来たんだ。」

Näme bol-dy?  
何 ある-PAST  
「何があったの?」  
Öý-e häzir adam gel-di.  
家-DAT 今 人 来る-PAST  
「家に今人が来たんだ。」

(5) 「あの子供がムラットを叩いたんだって?!」「いや、ムラットじゃなくて、ラフマンを叩いたんだよ。」

Ol çaga Myrad-y ur-updyr-my?!  
あの 子供 ムラット-ACC 叩く-SUB.PAST-Q  
Ýok, Myrad-y däl de Rahman-y ur-updyr.  
いいえ ムラット-ACC NEG-COP CONJ ラフマン-ACC 叩く-SUB.PAST

(6) 「赤い袋と青い袋があるけど、どっちを買う(の)?」「(私は)青い袋を買うよ。」

(6a) Bärde<sup>4</sup> gyzyl we gök torba-lar bar. Haýsy-sy-ny  
ここに 赤い と 青い 袋-PL ある どちら-3.POSS-ACC  
al-jak?  
買う-DEF.FUT  
Gög-i al-jak.  
青-ACC 買う-DEF.FUT

2人以上の人が買う場合は2人目はMen-äという対比の表現をつかうことができる。

---

<sup>4</sup> bärde「ここで」の-deは位格接尾辞と考えられるがbärという語彙はないため、ここでは分析的に解釈しないことにする。

(6b) Haýsy-sy-ny al-jak? Gög-i al-jak.  
 どちら-3.POSS-ACC 買う-DEF.FUT 青い-ACC 買う-DEF.FUT  
 Men-ä gyzył.  
 わたし-といえ 赤い

(7) 「ムラットはどうした?」「ムラットは朝からどっかへでかけたよ。」(朝少し遅く起きて来たムラットの父親が、姿の見えないムラットについて母親に尋ねている場面で)

Myrat hany?  
 ムラット どうした  
 Myrat ir-den bir ýer-e git-di.  
 ムラット 朝-ABL ある 場所-DAT 行く-PAST

(8) 「(あの子供は) 誰を叩いたの?」「(あの子供は) 自分の弟を叩いたんだ。」  
 Ol kim-i ur-dy?  
 彼 誰-ACC 叩く-PAST  
 Öz jigi-si-ni ur-dy.  
 自分 弟-3.POSS-ACC 叩く-PAST

(9) [電話で]「どうした(の)?」「うん、一郎が(自分の)弟を叩いたんだ。」  
 Näme bol-dy?  
 何 ある-PAST  
 Neme, Myrat jigi-si-ni ur-dy.  
 ええと ムラット 弟-3.POSS-ACC 叩く-PAST

(10) 「あのケーキ、どうした?」「ああ、(あれは)ムラットが食べちゃったよ。」  
 Düyň-ki tort nire-de?  
 昨日-の ケーキ どこ-LOC  
 On-y Myrat iý-ipdir.  
 それ-ACC ムラット 食べる-SUB.PAST

前の文では主格であったケーキが次の文では代名詞となり、対格を伴っている。主格ではうけられず、onyを省略することはできない。

(11) 「私が昨日お店から買って来たのはこの本だ。」

\* (11a) Düyñ meniñ<sup>5</sup> dükan-dan al-yp gel-en-im bu kitap-dyr.  
昨日 私の 店-ABL 買う-CONV 来る-PAST.PART-1.POSS この 本-COP

(11b) Bu düyñ meniñ dükan-dan al-yp gel-en kitab-ym.  
これ 昨日 私の 店-ABL 買う-CONV 来る-PAST.PART 本-1.POSS

「これは昨日私がお店で買ってきた本だ。」

(11a)は非文となり、(11)の例において分裂文を作ることができない。(11b)のように関係節を用いて表される。関係節の主語は属格で表される。

(12) 「あの人は先生だ。この学校でもう3年働いている。」

Ol mugallym. Üç ýyl-dan bäri bu mekdep-de işle-ýär  
彼は 先生 3 年-ABL 以来 この 学校-LOC 働く-PRES

(13) 「彼のお父さんは、あの人だ。」

Myrad-yn kaka-sy ol adam.  
ムラット-GEN 父-3.POSS あの 人

(14) 「あの人が彼のお父さんだ。」

Ol adam onuñ kaka-sy.  
あの 人 彼の 父-3.POSS

(15) 「あさってってというのはね、あしたの次の日のことだよ。」

Birigün bol-an-da etir-den soñ-ky gün diý-mek-dir.  
あさって ある-PAST.PART-LOC 明日-ABL 次の 日 言う-VN-COP  
「あさってというと、明日から次の日と言う意味だ。」

(16) [何人かで入った喫茶店で注文を聞かれて] 「私はコーヒーだ。」

(16a) Men-ä kofe al-jak.  
私-といえば コーヒー 買う-DEF.FUT

---

<sup>5</sup> meniñ は men-iñ (私-GEN) と分析できそうであるが、3人称代名詞の属格 onuñ は主格が ol であり、語幹部分の形が異なるため、代名詞の属格形全体を考慮して分析的な記述をしていない。

(16b) Maña kofe.

私に コーヒー

\*(16c) Men kofe.

私 コーヒー

(16a)のように動詞を伴うか、(16b)代名詞の与格形(分析不可のためグロスは「わたしに」としている)を用いなければ表すことができない。ただし、(6b)では *Men-ä gyzył*。「私は赤」と言っているので条件によってはウナギ文を作ることができるようであるが、詳しい検討が必要である。

(17) [注文した数人分のお茶が運ばれて来て「どなたがコーヒーですか?」との問いに]「コーヒーは私だ。」

(17a) Kofe maña.

コーヒー 私に

(17b) Kofe meniň-ki.

コーヒー 私の-N.DER

(17a)のように代名詞の与格形を伴うか、(17b)のように「コーヒーは私のものだ」と言う必要がある。

(18) 「その新しくて厚い本は(値段が)高い。」

Ol täze we galyn kitap gymmat-dyr.

その 新しい そして 厚い 本 高い-COP

トルクメン語では形容詞を名詞の前に置くことで、名詞を修飾する。複数の形容詞が名詞を修飾してもその形態は変わらない。

(19) [砂糖の入れ物を開けて]「あっ、砂糖が無くなっているよ!」

Wi, şeker gutar-aý-ypdyr.

INT 砂糖 終わる-aý<sup>6</sup>-SUB.PAST

<sup>6</sup> Clark (1998: 297-300)で *Suffix of Permission* と呼ばれているものだが、(19)の-aý ここでの記述に当てはまるものはない。調査協力者によるとここでは話者の落ち込んだ気持ちを表しているという。

動詞述語の場合、意外性を表すのに推定過去-IpdIr が用いられる。Wi/wi/は調査協力者によると、驚きを表す感嘆詞である。(20)の wi/wi/とは異なる。

(20) 「午後、誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ。あつ、そうだ！ ムラットだったな。」

Öylän biri bilen duşuş-maly-dy-m. Kim-di aý şo!  
午後 だれか と 会う-OBL-PAST.COP-1.SG だれ-PAST.COP INT それ  
Wi, ýad-ym-a düş-di. Hä, Myrat-dy.  
INT 記憶-1.POSS-DAT 落ちる-PAST INT ムラット-PAST.COP

名詞述語の場合は過去のコピュラ-di がもちいられている。

aý は Söyegow et al.(1999: 573)によると疑惑や信用のなさを表す感嘆詞である。hä は Söyegow et al.(1999: 571)によると思考が特定の物事の結果にいたったことを表す感嘆詞である。wi は調査協力者によると、気づきや驚きを表す感嘆詞である。

#### 略号

ABL 奪格 / ACC 対格 / COMP 比較 / CONJ 接続詞 / CONV 副動詞 / COP コピュラ /  
DAT 与格 / DEF.FUT 定未来 / GEN 属格 / INT 感嘆詞 / LOC 位格 / N.DER 名詞化接  
辞 / NEG 否定 / PART 形動詞 / PAST 過去 / PL 複数 / POSS 所有接尾辞 / PRES 現在  
/ Q 疑問 / SG 単数 / SUB.PAST 推定過去 / VN 動名詞 / 1 一人称 / 3 三人称

#### 参考文献

- Clark, Larry. 1998. *Turkmen Reference Grammar*, Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.  
Göksel, Aslı and Kerslake, Celia. 2005 *Turkish. A Comprehensive Grammar*, London: Routledge  
Söyegow, M., Borjakow, A., Sarhanow, M., Hojaýew, B., Ämazarow, S.(eds.). 1999 *Türkmen Diliniň Grammatikasy*, Aşgabat: Ruh